



AE-20

¥ 20,000

☆表板…スプルース
☆裏・側板…トング
☆梓…ナトー
☆指板・下駒…ローズウッド



AE-20S

¥ 20,000

☆表板…スプルース
☆裏・側板…トング
☆梓…ナトー
☆指板・下駒…ローズウッド



AE-20 L

¥ 20,000

☆表板…スプルース
☆裏・側板…トング
☆梓…ナトー
☆指板・下駒…ローズウッド

鈴木バイオリンは、1887年に日本で最初の洋弦楽器「バイオリン」を作り、それから24年後の1911年に、アコースティックギターへの製作に入り、以来、プレーヤーや音楽は時の流れと共に変わっても、ThreeSブランドのアコースティックギターには90余年の間、受け継がれて来たクラフトマンシップと歴史が息づいています。ThreeS AEシリーズは、現在のアコースティックギターに対するユーザーのニーズの中で、特に必要とされて来ている音量の増大と言う問題を考え、鈴木バイオリン技術陣と、共和商企企画室が提携して開発した新しいアコースティックギターです。

●ドブテールジョイント
最近のギターでは、ほとんど見られなくなった非常にシブいな楽器本意を追求し考案したジョイント方法です。マスコダクトされたギターでは味おえぬ、この手の込んだ構造が音響的に優れた効果を約束します。

●セキュアネック
これは、ギターの熟所であるネックとボディの接合部分を強化する為にとり入れた、非常に高度な技術を要するのと同時に贅沢な方法で、衝撃や経年変化による狂いを最小限に食い止める役割をします。

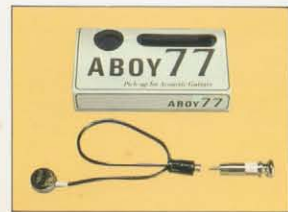
●トラスロッド
ギターを永年ベストの状態に強く保つには、トラスロッドは必要不可欠なものです。スリーS AEシリーズは、さらにそこで音響的な面を考慮してネックの中に最小限の溝切りですむよう写真上の上鉄芯を採用。又鉄芯をうめた後、うめ木を施しネック内部での空響をシャットアウトしています。

●プレイング
内部の力木の配置はギター生命とも言うべき「音」を左右します。ここでは、1887年からのバイオリン製作で培われて来た、他の追随を許さないスリーSならではの技術と伝統が生きています。

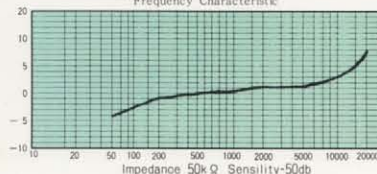
●アボイ77
この部分がAEシリーズの大きな特徴です。従来の7#のエンドピンと違いAEシリーズには11#のエンドピンが使われており、それを抜くだけで、高性能アコースティックギター用マイク、アボイ77(別売)が取り付けられます。

●アボイ77が完全に取り付けられた内部
(サウンドホールから手を入れてピックアップを取り付けます。)

① 通常の状態
② エンドピンを抜いた状態 (ペンチ等で引っぱれば必ず抜けれます)
③ アボイ77、エンドピン兼用ジャックを入れた状態 (挿げます)
④ シールドコードでアンプとつなげばアコースティックのそのままの音を実際に増幅します。
⑤



Pick-up for Acoustic Guitars



ABOY77 (¥4,500)

従来ピックアップは、ギター本体の外側に取り付けることにより、本体をキズつけることがしばしばあった。また、外側に取り付けるとはピックアップ自体、表面板の振動による音しかひらえなかった。しかし、本体内部に取り付けられれば、胴内響音をひろうこともでき、より忠実なアコースティックならではの音質を再現できる。ABOY77は、ギター本体内部に取り付けることにより、簡単に従来の欠点を克服し、より忠実にアコースティックサウンドを再現します。